

秋田の土地改良

4

2011・APR



東日本大震災の被災地の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。



がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

水土里ネット秋田第53回通常総会を開催……………	2	新任あいさつ(秋田県農林水産部参事(兼)農地整備課長 難波和聡)……………	9
土地改良区合併予備契約調印式(三種町)……………	5	平成23年度本会機構図及び職員配置……………	11
第53回全国水土里ネット通常総会……………	5	水土里ネット秋田 新任職員の紹介・連合会日誌……………	13
第52回全国土地改良功労者表彰……………	6	特集:地域からの情報発信(大館・北秋田支部 水土里レポーター)……………	14
平成22年度東北農業農村整備推進協議会(農地集団化促進部会)優良地区表彰……………	7	特集:農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑤)……………	15
平成23年度土地改良振興基金のご案内……………	7	会員だより……………	15
平成23年度秋田県人事異動(農林水産部関係)……………	8	インフォメーション……………	16



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号
 TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



第53回 本会通常総会



3月18日、本会第53回通常総会が、県社会福祉会館(秋田市)において会員127名(内委任状61名)が出席し、来賓として佐竹敬久秋田県知事、高松和夫衆議院議員ほか関係者がご臨席のもとに開催された。

開会に先立ち、去る3月11日に発生した「東日本大震災」により、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表し、参加者全員での黙祷が捧げられた。

総会は、高貝会長が「平成23年度予算は、本会を事業主体とする補助事業は、事業仕分けに起因する国の制度改正により、大幅な削減となっている。受託事業に関しても、現在まで掌握している可能な限りの額を計上した厳しい状況にあるが、会員の皆様の事業推進等に対する要請には、十分お応えして参りたい」などと開会の挨拶を述べた。また、来賓祝辞として佐竹知事が「国の予算の大幅な削減等により、農業農村整備事業などを取り巻く環境は厳しくなっているが、県独自の『農林漁業振興臨時対策基金』を活用した事業など、できるだけ予算措置をして参りたい」と祝辞を述べられ、その後、平成22年度の功績者表彰として優良6団体及び個人17名の表彰が行われた。

議事では、議長に秋田市旭川筋土地改良区理事長佐藤國夫氏を選出し、平成21年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録、平成22年度一般会計収支補正予算(理事会専決処分)、平成23年度事業計画、同一一般会計収支予算などが審議され、提出案件がすべて承認・議決された。

中でも、事業計画に関し、羽後町土地改良区理事長斎藤喜光氏から「維持管理計画書作成支援業務」の継続実施に対する謝辞と、依頼者としての会員の心構えに対する提案があったほか、県が新たに取り組む「排水強化対策事業」にも、会員からの要望地区に側面から支援していくことなどが承認された。

最後に、黒子専務理事により決議文の朗読・提案があり、満場の承認を得て採択され、総会は終了した。

なお、今回表彰された功績者表彰(優良団体及び個人)は、次のとおり。

団体表彰(土地改良区)

- 金章 戸村、秋田県仙北南部
- 銀章 森吉町、山本郡藤里町藤琴、八郎潟西部干拓地区
- 銅章 秋田市上新城

個人表彰

- 立山高則、佐藤年幸、菅原恵理子、唐土義弘、土田文雄、
- 吉田新一、船橋金弘、千田博、鈴木久夫、佐藤邦彦、斉藤理枝子、
- 大石清美、工藤誠悦、小野寺敬介、打川正美、鈴木葉子、篠田學而



第53回通常総会あいさつ



水土里ネット秋田 会長
高 貝 久 遠

まず、冒頭に、「東日本大震災」によりお亡くなりになられた皆様に深い哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

会員の皆様には、年度末並びに大震災後の何かとご多忙の中、ご参会頂き誠にありがとうございます。

また、ご来賓の皆様には、万障お繰り合わせの上ご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進並びに本会の業務運営に、特段のご指導・ご支援を頂き、重ねて感謝申し上げます。

本日、予定どおり総会を開催させて頂きましたのは、今後、被災県からの人的支援等の要請が想定されることから、組織を上げて対応するため、新年度の執行予算等を早期に成立させて頂き、体制を確立しておく必要があるとの判断からでございます。

農業農村整備事業を取り巻く情勢等につきましては、大会決議(案)に記載させて頂いておりますので、本日、ご審議頂く案件の主なものについてご説明申し上げます。

最初に、本年度の決算見込み状況であります。骨格をなす受託事業につきましては、県からの受託が予想を上回ったことなどから、当初比3割程度の増額となっております。

次に、来年度の事業計画であります。会員の皆様の付託に応えるべく、維持管理計画書作成支援と農業水利施設の「ゴミゼロ」対策等を引き続き実施させて頂くほか、最終年を迎える「農地・水・環境保全向上対策」についても、次期対策への要望活動を強力に展開して参ります。

また、施設の適正・的確な整備、補修を推進することを目的に、県が実施する「農業水利施設データベース化促進事業」に積極的に係わらせて頂きますとともに、県が新たに取り組む食料自給率向上に不可欠な水田汎用化に直結す

る排水強化対策には、皆様の要望地区に側面から支援して参ります。

さらに、来年度予算につきましては、本会を事業主体とする補助事業が、事業仕分け等に起因する国の制度改正より、大幅な削減となっております。受託事業に関しましても、現在まで掌握しております可能な限りの額を計上するなど厳しい状況にありますが、会員皆様の事業推進等への要請にも、十分お応えして参りたいと存じております。

なお、この後、引き続き表彰が行われますが、受賞される土地改良区並びに役職員の方々は、いずれも農業農村整備事業の推進に貢献され、地域の発展に優れた功績を上げられた方々であり、心から敬意を表しますとともに、引き続き農業農村の発展に特段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

ここで、皆様に、大変喜ばしいご報告を申し上げます。

全国水土里ネットから、「平成22年度農業農村整備優良地区コンクール(農業生産基盤整備部門)」におきまして、会員であります「仙北平野豊川土地改良区」が最上位のランクの「農林水産大臣賞」を受賞することが決定した旨の通知がありました。

豊川土地改良区は、「経営体育成基盤整備事業」の推進母体として、従来から行われている「土地総型」の地区でありながら、事業を契機に、集落営農組織等への集積を飛躍的に増加させ、これら経営体の営農努力により「生産性の高い水田農業経営」が確立されていることなどが、高く評価されたものと伺っております。誠に御慶び申し上げます。

最後になりますが、ご提案申し上げました各議案について、よろしくご審議、ご決定賜りますようお願い致しますとともに、本日ご参会の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念を申し上げ、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。



決 議



国民の生存にとって不可欠である食料の安定供給を、将来にわたり確保するためには、我が国の気候風土に根ざした水田を始めとする農地や農業用水等の整備、担い手等が安心して定住できる環境整備など、農業農村整備を一層推進し、農業生産の増大を図る必要がある。

また、農業農村整備事業には、食料安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興等に資するという目的があり、その推進母体である水土里ネットは、使命に基づき、国民の食料安全保障や地域経済等、国民生活にとって極めて大きな課題の克服に貢献することが期待されている。

しかし、農業農村を取り巻く情勢は、高齢化に伴う担い手不足や耕作放棄地の増加、長期的な米価の下落、貿易自由化を巡る動きなど、一段と厳しさを増している。さらに、戸別所得補償制度の導入に伴う農業農村整備予算の大幅な縮減など、国の政策転換と相まって、農業の未来に絶望感さえも抱かせている。

こうした時代の中で、我々水土里ネットには、先人達の叡智と努力の積み重ねにより守り育まれてきた「水」、「土」、「里」を次世代に引き継いでいく責務がある。このような重大な使命と期待を担う農業農村整備を積極的かつ着実に推進するため、下記事項の実現を図ることを総会の名において決議する。

記

- 一、戸別所得補償制度の充実を図り、国内農業の崩壊へと繋がるTPP参加には、十分な議論を重ね、慎重に対処すること。
- 一、食料自給力向上に資する農地の確保と高度化を推進する農業農村整備事業予算を、平成21年度並に復活すること。
- 一、多面的機能の発揮など、水土里ネットが果たしている公益的な役割を評価し、公的支援を制度化すること。
- 一、継続的な農業生産の礎となる土地改良施設の計画的な更新整備を、国策として推進すること。

平成23年3月18日

秋田県土地改良事業団体連合会 第53回通常総会
(水土里ネット秋田)